第2回定例会の主な日程

令和2年第2回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 6月8日（月）　本会議（開会、知事提出議案説明）
- 6月11日（木）、12日（金）、15日（月）　本会議（一般質問・質疑）
- 6月17日（水）、18日（木）　常任委員会
- 6月19日（金）　本会議（予算関係議案常任委員長報告等）
- 6月20日（土）　予算特別委員会
- 6月22日（月）　魅力向上に関する調査特別委員会
- 6月23日（火）　本会議（委員長報告、採決、閉会）

一般質問（要旨）

●質問者

6月11日（木）
西野（にしの）　一（はじめ）（いばらき自民党）
加藤（かとう）　明良（あきよし）（いばらき自民党）
鈴木（すずき）　将（まさし）（いばらき自民党）

6月12日（金）
中村（なかむら）　はやと（無所属）
水柿（みずがき）　一俊（かずとし）（いばらき自民党）
坂本（さかもと）　隆司（りゅうじ）（いばらき自民党）

6月15日（月）
髙橋（たかはし）　勝則（かつのり）（いばらき自民党）
村本（むらもと）　修司（しゅうじ）（公明党）
村上（むらかみ）　典男（のりお）（いばらき自民党）

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧になれます。

加藤　明良 議員
いばらき自民党
水戸市・城里町選出
分割方式

新型コロナウイルス感染症に伴う長期臨時休業を経た学校教育の対応

議員　感染症への備えや学びの保障のため、大胆な財政出動により、児童生徒に一人一台端末を整備し、格差のないオンライン授業環境を実現すべきと考えるが、所見は。

教育長　一人一台端末整備を支援し、今年度中に全市町村の小中学校でオンライン授業環境が整う見込みである。一方、県立高校では、生徒の端末整備が国の補助対象外であるため、個人の端末の活用を基本としつつ、端末がない場合に貸与する機器の整備を進める。

観光需要の喚起による県内の消費拡大

議員　「いばらきプレミアム飲食・宿泊・商品券」を発行し、県内の宿泊や県産品の消費拡大を促進するとともに、北関東の周遊観光を企画すべきと考えるが、所見は。

知事　県内宿泊施設の割引プランに対し、一人一泊最大五千円を支援するほか、栃木県や群馬県と協議しながら、広域周遊企画やツアー造成への支援などを検討する。

（ほかに、大胆な財政出動による地域経済支援、令和元年東日本台風により被災した那珂川水系の堤防復旧と水害対策・河川整備なども質問）

大胆な財政出動で児童生徒の一人一台端末の整備を

中村　はやと 議員
無所属
古河市選出
一括方式

中小企業への支援

議員　新型コロナウイルス感染症による中小企業への影響は、特に深刻である。一層のきめ細かな支援が必要と考えるが、今後どう取り組んでいくのか。

知事　幅広い業種で経営状況が悪化するなど、企業を取り巻く環境は日々厳しさを増している。限られた財源で最大の効果が得られるよう、中小企業の皆様の声をつぶさに聞きながら、必要な支援策を果断に実行することで、中小企業を全力で支援していく。

小規模・家族農業への支援強化

議員　将来にわたり農業大県いばらきを維持していくには、農業経営体の大半を占める小規模・家族農業への支援強化が必要と考える。今後どう取り組んでいくのか。

農林水産部長　経営規模の大小や家族経営・組織経営という経営形態にかかわらず、個々の経営体の所得向上にこだわり、生産性や付加価値の向上などに意欲的にチャレンジする農業者を支援し、本県農業の成長産業化を進めていく。

（ほかに、検査体制の充実、ギャンブル依存症対策なども質問）

小規模・家族農業への支援強化を

西野　一 議員
いばらき自民党
常陸太田市・大子町選出
分割方式

医療機関におけるクラスター対策

議員　新型コロナウイルス感染者数の増加による医療崩壊を未然に回避するため、医療機関においては、クラスターを発生させないことが重要であるが、所見は。

知事　医療機関でのクラスター発生は、地域医療に大きな影響を及ぼすため、感染リスクを抑える必要がある。第二波、第三波に備え、入院前や手術前の患者には、無症状でも、医師が感染を疑うときはPCR検査の実施を促すなど、検査体制のさらなる充実を図る。

ICTを活用した教育の推進

議員　ICT活用には、環境整備など課題はあるが、学びの機会の保障に効果的である。アフターコロナにおいて、ICTを活用した教育の推進にどう取り組むのか。

教育長　ICTの活用により、知識の定着に重点を置いた従来の学びから、課題解決に重点を置いた学びへの転換を促進していく。ICTを、授業の補完だけでなく、アクティブに自ら学ぶ仕掛けとして、教育に活用していく。

（ほかに、茨城空港の検疫体制強化、肉用牛の振興方策なども質問）

オンライン授業の様子

鈴木　将 議員
いばらき自民党
つくば市選出
分割方式

茨城県の観光復活への道筋と取り組み

議員　まずは、近場の旅行が観光復活の第一歩である。次に、国内客を誘客し、最後に、インバウンドなど、段階的に需要を取り込む戦略が必要だと考えるが、所見は。

知事　感染動向に留意しつつ、近隣観光から県境を越えた国内観光、インバウンドと、段階に応じた観光需要喚起策をスピード感を持って展開する。また、持続可能な観光振興に向けて、筑波山・霞ケ浦エリアなど、競争力の高い魅力ある観光地域づくりにも取り組む。

新型コロナウイルス感染症の宿泊療養体制

議員　協力した施設や地域に不利益が生じないよう対策を講じるとともに、次の感染拡大も見据え、軽症者などが安心快適に療養できる体制整備が必要だが、所見は。

知事　引き続き、施設の感染防止と安全対策を徹底するとともに、風評被害の防止に全力で取り組む。また、看護師の二十四時間常駐などの健康管理体制や快適な生活環境の確保などに引き続き取り組む。

（ほかに、学校再開後の対応、ケアラー※を支える社会づくりなども質問）

この夏は筑波山麓から大空の旅へ

水柿　一俊 議員
いばらき自民党
筑西市選出
一括方式

新型コロナウイルス感染症に関し、在住外国人への対応

議員　県内に在留する外国人は昨年六月末で約六万八千人である。感染の疑いがあった際の対応について、どう対策し、備えるのか。

保健福祉部長　感染症対応は県民一体となって対策を講じる必要がある。県ホームページにおいて、やさしい日本語や英語でも幅広く情報発信を行う。また、各保健所に相談受付マニュアルの英語版を配置するなど、日本語が不慣れな方の相談や感染が確認された際の対応が円滑にできるよう取り組む。

国道五十号協和バイパスの整備

議員　協和バイパスの新規事業化が発表された。国道五十号は筑西市門井交差点付近が渋滞し、支障を来していたが、解消されれば地域産業を支える道路になるものと期待する。整備の見通しは。

土木部長　県西地域の発展には国道五十号の役割が重要となる。今年秋には測量・地質調査に係る地元説明会を開催し、来年度には道路設計などを実施する。順次、用地測量・物件調査などに着手していく。

（ほかに、農地の集積・集約化、イネ縞葉枯病対策なども質問）

国道50号筑西市門井交差点付近

ことば　※【ケアラー】…心や体に不調のある人の介護、看病、療育、世話、気づかいなど、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人。